

山本両君に対する結核誘拐事件が審理、裁判を通じて終始一貫封建的身分の差別觀念をもつて取扱はれ、明治四年の大政官布告によつて公法の上では解消されてしまひ差別取扱ひを禁ぜられてゐる筈の身分をば容認し、法律上罪とせらるる事実を罪とし、特殊部落出身たることを黙殺し一般の女と結婚せしめられたことを犯罪構成の第一條件として断罪された事件である。三大義務の引替へに発布された解放令の事実上の取消しを意味する此の差別裁判に対して全国六千の被压迫部落三百万大衆は、未曾有の憤激をもつて躍起し、今年八月廿八日の解放令発布記念日には大阪市天王寺公会堂に於て全国部落代表者會議を挙行し差別裁判を取消すか？然らずば解放令を、差別の台言葉に掲げ、三府三十三縣に亘る部落

大衆を若石運動に動員し、請願隊は行程一千二百料千涉律圧を突破して、中央政府に内迫し極めて成功的に斗争を遂行した。此の斗争に依つて倍旧の勢力を戦ひ取つた全国水平社は昭和九年四月十三、四の両日、創立大会挙行の歴史的意義を前する京都市岡崎公会堂に於て、中興大会ともいふべき第十二回全国大会を挙行し、昭和九年度の運動の方向を日部落内活動を強化し全国的に緊急施設費廢止反対、地方改善費増額要求斗争を捲き起すことに全勢力を集申し戦ひ抜くべく決議した。

(三) 九州地方に於ける全国水平社運動は、福岡縣を先頭に参加し、大正十二年以來、全国水平社運動に於ける西の鉄壁として戦ひ續けて来た輝やかしい歴史を持つてゐる。

今日の吾々の闘争は最早やゝ現はれた差別事象に対する亂彈のみでなく、部落大衆の全生活を劣悪悲惨なものとして條件づけてゐる一切の身分關係の抑圧に対する斗争として展開されつゝある。部落改良施設獲得を中心にして部落委員會活動を捲き起し、実践的に全国水平社運動の新しい進路の先頭に立つたのも福岡縣であつた。

高松事件をキッカゲとして、昭和三年以來現象の極に達してゐた熊本縣は猛烈として躍起し、昭和九年二月には二十数支部を結集して再建大会を挙行し、藤本巡查、福島助役、豊田巡查等の亂彈斗争並に改善費問題、入会権問題等々の果敢たる斗争を通じて今日は縣下三十九部落を獲得した。福岡縣に於ける斗争は種々として巨歩を進めてゐる。斗争組織の再編成拡充を眼目

として既に早良、糸島、福岡、嘉穂、朝倉の各地区に模範的地根據會を確立し、斗争と動員の組織を鋼鉄の網の目のやうに築き上げた。佐藤中将亂彈斗争も全国に先かけてトツスを切り、部落施設獲得斗争は勿論その他、早害部落農民救済斗争、大小差別亂彈斗争等々と着実に華々しい斗争を展開してゐる。

佐賀縣にも縣聯合會準備會が結成され、長崎の兄弟も九州の西端に吾等の旗をひるかへし、大分縣も再建の斗争準備成り、従来組織であつた宮崎、鹿児島兩縣も最近躍起の氣運が醸成されつゝある。

結 語

吾々は今日まで幾多のギヤムを払ひ全国水平社の旗を捧ぎて荆棘の途を踏破し、被压迫部落解放の斗争を果敢に進めて来た。